(別紙4(2))

事業所名 グループホーム もやい作成日: 令和 2 年 12 月 21 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族とゆっくり話し合う時間が少ないので、家族の面会時や家族会の時に、職員が家族とコミュニケーションを取りながら、利用者や家族の思いや意向を聴き取り、日常介護に反映出来るように支援していく。元家族との関係も継続していく。	管理者だけでなく、職員が家族と常に話し合う機会を設け、家族の意見や要望を気楽に話せる環境整備に取り組み、利用者や家族の悩みや心配ごとに答えられる体制を構築していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、夜間の非常時に夜勤者1人で9人の利用者を安全に避難誘導できる体制を築いていく。	利用者を巻き込まず、夜勤者を中心に目標タイムを設定して、夜間想定避難訓練を行う。何度も訓練を繰り返して時間の短縮に取り組み、夜勤者が自信を持って勤務できる体制を確立する。また、非常災害時、地域住民と相互協力体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。